

2025 年 JPBA 東日本ブロック総会 議事録

JPBA 東日本ブロック

1. 開催日時及び方法と場所

- (1) 開催日時 2025 年 2 月 1 日 (土) 午後 2 時から午後 5 時
- (2) 開催方法 通常総会
- (3) 開催場所 アットビジネスセンター池袋駅前別館 607 号 会議室

2. 理事数及び出席理事数

- (1) 理事数 6 名 (岡田・西尾・白岩・福井・渡辺・松村)
- (2) 出席理事数 6 名 (岡田・西尾・白岩・福井・渡辺・松村)

3. 会員数及び出席会員数

- (1) 東日本男子会員数 105 名 (理事 6 名含む) ※2025 年 2 月 1 日時点
- (2) 出席会員数 105 名中 (出席 22 名、委任状 57 名、合計 79 名、無投票 26 名)

4. 司会と議長氏名：東日本ブロック長：岡田将輝

5. 議事録作成氏名：東日本ブロック長：岡田将輝

6. 議長選任

定刻に至り司会者岡田将輝が開会を宣し、JPBA 規約 32 条 2 項に基づき、本日の通常総会の出席数を告げたのち、JPBA 規約 32 条 1 項に基づき、東日本ブロック長の岡田将輝を議長に指名し報告事項と議案の審議に入った。

7. 報告事項と議案別の結果

【2024 年報告事項】

「各支部 (北海道・関東・東北) /収支報告書」「GP-E・関東 Op・14-1Op・ジャパンオープン/予実収支報告書」をスクリーン資料及び WEB 上にて各自で資料のご確認を頂き、質問にお答えしました。

【議案】《決議事項》

第1号議案 2025年度 東日本ブロック事業案：第1号議案は賛成多数で承認可決されました。

第2号議案 2025年度 関東支部 予算案：第2号議案は賛成多数で承認可決されました。

第3号議案 2025年度 GP-E 予算案：第3号議案は賛成多数で承認可決されました。

第4号議案 2025年度 GP-E 一部レギュレーション変更案：第4号議案の3つの議案は賛成多数で承認可決されました。

- ・ベスト16の抽選方法は上位2名を1枠と9枠へ振分、14名を抽選とする
- ・ベスト16の試合が決勝日に2回転ある時は、開催店舗が開催店シード選手の試合を1回転目か2回転目にするかを選べる。
- ・9ボール、9オンフット、ブレイクボックスを採用した場合に限り、勝者ブレイクか交互ブレイクを開催店舗が選べる。

※9ボールは基本交互ブレイク、10ボールは開催店舗が選べる。

第5号議案 理事4名の重任決議案（白岩篤・福井優介・渡辺剛史・松村浩道）は、個別決議を行い4名全員がそれぞれ賛成多数で承認可決されました。

○ご出席頂いた皆様にはご熱心に審議を頂き誠にありがとうございました。

『事前質問へのご回答』

1：GP-Eの決勝日についてのご要望

- ・決勝ベスト16のシード分けの廃止、もしくは予選でSAアマチュア振り分けをランダムに行う。
- ・決勝日2回転のとき開催店シード選手が1回転目か2回転目か選べるようにする。
- ・勝者ブレイクあり。

※上記3点については、第4号議案にて決議いたしました。

予選の組み合わせでSAアマチュアの振り分けをランダムに行う件については、理事会で今まで色々なトライ&エラーを実施して今に至っています。

2：GP-Eの補助金についてのご要望。

今年のグランプリ概要において、北海道支部及び東北支部からの関東予選参加に対し補助金が出るとありました。この補助金の主旨はどういったもののでしょうか。もともと、距離的な問題のために東北予選を別枠にて開催している事を思えば、さらなる補助は必要ないのではないか。それでも遠くから参加してもらうための補助が必要という事であれば、新潟県からの参加についても、それなりの補助があっても良いのではないか。という意見がありますのでメールにてお伝えいたします。ご検討よろしくごお願い致します。

※上記の件は、理事会にて議論した結果、支給をすることには前向きに考えておりますが、下記の理由などから継続審議とさせて頂きました。

理由としては、北海道支部と東北支部への施策であり、関東支部に属する新潟在住のプロに支給することに少し違和感があります。場合によっては茨城、栃木、群馬在住のプロからも要望が出ることなど考慮し、もう少し色々議論が必要との判断に至りました。また、この補助金支給はすでに4年経過しており、2025年で5年目となり、今までに特に問題や要望などは出ていない点も継続審議とした理由の1つとなります。

『新人プロ2名の紹介』

・村松勇志、藤嶋陸2名が自己紹介と抱負を述べた。

総会は16時10分に滞りなく閉会致しました。

《総会閉会後に報告事項として以下の内容をお伝えしました》

◎国内のシード振分ランキングについて

2025年からはシード振り分けに使用するランキングの試合数が全国ポイント対象7試合、ブロック別ポイント6試合に満たない場合は不足試合数を遡ってポイント加算する。海外ポイントは「不足試合数を遡った期間の国内試合重複ポイント」と「過去1年間の海外試合報奨ポイント」を加算する。としました。

◎トーナメント抽選後のキャンセル及び不戦敗時のポイントについて

組み合わせ抽選後のキャンセル及び不戦敗のランキングポイント付与はトーナメント表上での順位ではなく、参加人数毎の最低ポイントとしました。

「ランキング17位以下のJPBAプロがWPAランキングで31位以内に入っている場合は外国人プロと同様に16組より順番に第3シードとしてシード振り分けを行う。」としました。

上記の取り決めにより、ランキング上位者が海外トーナメントでランキング上位に入っているJPBAプロと同じ組になる不利益が無くなると思います。

◎JPBA公認ボールについて

2025年から3ヶ年ダイナスフィアボールと契約を締結いたしました。関西OPで調印式を行いました。ジャストドゥイット谷崎社長とお会いする事がある場合は、みなさんからも御礼をお願い致します。

◎ジャパンオープンについて

以前の報告では2025年以降の特別協賛は厳しいとの見解でしたが、粘り強く交渉した結果、この度2025年から2027年の3ヶ年でダイヤモンドテーブル設置協賛と特別協賛金250万円の契約を締結いたしました。ニューアートの山谷社長とお会いする事がある場合は、みなさんからも御礼をお願い致します。

◎本部総会について

一斉メールでもお伝えしたように、関東OP前日の4月11日(金)にアットビジネスセンター池袋駅前別館705号室にて14時より実施いたします。

◎マッチルーム(WNT)とWPA,ACBSの問題について

この件に関しては、不確定な要素が多くあり文章での説明は難しい為、口頭でお伝えした内容を抜粋し記載します。
・大前提としてこの問題は本来、WNTとWPAの2社間での問題であり、プレイヤーを巻き込んで欲しくない案件という事です。

・ペナルティ選手への罰金500ドル(6ヶ月間出場停止)と協会への罰金2,000ドルがあり、今回、WPAからペナル

ティを受けている日本人 2 名のプレイヤーが関西 OP へ出場しました。JPBA としては WPA にサンクションフィーを払って WPA ポイントの付与を受けている、全日本選手権とジャパンオープンの 2 大会がペナルティ対象試合と位置付けております。

・今後、どのような追加ペナルティが WPA から科せられるかは現時点では解りません。

・WPA より NBA を通じて JPBA に罰金の制裁が来た場合には、ペナルティを受けた本人へも制裁金の請求をする事も考えられると思います。※現時点では決定確定事項は何もありません。

以上

2025 年 2 月 3 日

ブロック長 岡田 将輝
副支部長 西尾 祐
理事 白岩 篤
理事 福井 優介
理事 渡辺 剛史
理事 松村 浩道

.....

以上